

# エアカーゴ最前線



## 中部編 39

平野ロジスティクスの中  
支店は中部臨空都市・空港島  
総合物流ゾーンのアドバンス  
ドフレイツサービスジャパン  
(AFS)カーゴターミナル  
ビルIの3階に拠点を構え  
る。陣容は5人。管理・営業  
担当、配車担当、現場業務管  
理担当が各1人、事務が2人  
の体制だ。同支店所属の車両  
台数は10ト車が4台、4ト車  
が2台。業務内容は、航空貨  
物のO・L・T(保税転送)サー  
ビス、通関済みの一般貨物の  
配送が2本柱。取り扱い件数  
の半分以上はO・L・Tサービス  
が占めている。

同サービスは、中部と成田、

羽田、関西を結んでおり、1  
日当たりの中部発着便数は大  
型車両で2ヶタを超える。中  
部発の便数は協力会社の車両  
を含めて1日当たり20台超。  
割合としては成田、関西とも  
に同程度だ。タイ洪水の生産  
復旧に向け、中部地区から自  
動車関連貨物が緊急的に出荷  
された際には、30台を超えた。  
中部着の台数は成田、関西に  
フレーターが到着した日には  
2ヶタを超える。羽田との間  
では毎日1、2便が運行して  
いる。

同社は小牧空港時代、中部  
地区にオフィスはなかった  
が、2005年2月の中部開

港を契機に同支店を開設し  
た。売上高は開設以来毎年、  
安定して伸びている。  
現在の協力会社数は約10  
社。既に成田、関西で協力関  
係にあった会社や、従来、一  
般貨物を取り扱っていたが開  
港に伴い航空貨物輸送への進  
出に関心を持っていた会社を  
起用している。新規進出の会  
社も社員教育を徹底し、品質  
面でも問題がない。中部発成  
田向けにスポット需要がある  
際、協力会社を片道で利用し、  
成田でトラックをリリースす  
るなど、各社の協力の下で需  
要に柔軟に対応する。

同支店が注力しているの

## コスト削減提案に注力

が、中小フォ  
ーターに對する  
コスト削減の提  
案だ。

スタッフが配置できる体力が  
ある。一方、中小の場合は輸  
出混載、輸入担当者らがそれ  
ぞれ配車業務を兼務してい  
る。加えて、混載には合わない  
サイズの貨物を取り扱う場  
合、その都度、トラックをフ  
ルチャーターし  
て対応している  
という。手間と  
コストがかかり  
経営が圧迫され  
ている中小が多  
いと同支店は分  
析。現在、「合  
積み輸送」を提  
案している。

決めて契約する。同車両が複  
数の中小の拠点を回り、集荷  
しながら、利用空港に届ける。  
中小2社が4ト車両を各1台  
チャーターせずに、同支店の  
10ト車両1台に合積みすれ  
ば、費用削減につながるわけ  
だ。輸入の場合でも、契約者  
に対して、タイムリーに引き  
渡すこともできるといふ。さ  
らに、一歩踏み込んで、配車  
業務自体を手掛ける提案も行  
っている。余剰人員、余剰車  
両を抱えずにコスト削減を進  
めていくことは、企業にとっ  
ては大きな課題だけに、今後  
も積極的に提案活動を展開し  
ていく。



スポット需要にも協力会社を利用し、  
柔軟に対応している

例え、定期  
的に混載にそぐ  
わない貨物が出  
荷されることが  
分かっている場  
合がある。その  
対応のため、同  
支店の車両を月

△データ所在地 千47  
9-0881 愛知県常滑市セ  
ントレア3丁目15番地2 AF  
Sカーゴターミナルビル13  
01-B 電話 0569-1  
381-7208 FAX 05  
69-381-7209

## 平野ロジスティクス中部支店